



2009年4月より米国ペンシルバニア州ピッツバーグにある University of Pittsburgh に留学しています。

アメリカ東部に位置するペンシルバニア州においてフィラデルフィアに次ぐ第2の都市であるピッツバーグは約31万の人口を擁します。過ごしやすい夏は短く、冬の寒さは壮絶で日本の青森県と同じくらいの緯度でありながら、その寒さは北海道をも凌ぐそうです。

古くは鉄鋼の街として知られたピッツバーグですが、鉄鋼業の衰退後に都市の公害対策と再開発を成功させ、現在は医学と工学を中心としたハイテクと University of Pittsburgh と Carnegie Mellon University を代表とする大学の街として生まれ変わりました。

住みやすさには定評があり、今年度は The Economist という雑誌で、全米中最も住みやすい都市に選ばれました。

今年は、G20の開催地としてなぜかピッツバーグが選ばれ各国首脳が集まりました。会期中、近郊の公立小中学校はすべて休校になりました。物流はストップし、会社や研究所も休業するところがあり、あちこちで道路が封鎖され、反資本主義者の暴動に近いデモが行われました。幸いなことに、テロも起きず暴動にも巻き込まれずに済みました。ほっとしています。

ピッツバーグにはアメリカの4大プロスポーツのなかで、野球・フットボール・アイスホッケーの3つが揃っており昨年度はフットボールの Steelers, アイスホッケーの Penguins が全米優勝しました。優勝のたびに、飲み屋街では熱烈なファンによる暴動が起こります。普段はアメリカの中では比較的 안전한地域に入りますが、イベント毎に暴動は起きやすい街のようです。

つい先日、鳩山首相が始球式を行った野球チームで、元巨人の桑田氏が在籍した Pirates もここに 있습니다。

Pirates だけは万年最下位争いを続けていて、今年もめでたく?最下位が決定しました。なんと、大リーグ史上ワーストタイ記録の16シーズン連続の負け越しだそうです。しかし、本拠地とするスタジアムは、全米で最も素晴らしいと言われるほど綺麗で立派です。ほとんど売り切れることのない低価格なチケットであるため、手軽に大リーグを楽しむことができ、重宝しています。

私の所属は University of Pittsburgh の Department of Urology 内 Neurourology Research 部門です。信州大学泌尿器科学講座からは関先生、小川先生、平形先生、横山先生に続き私で5人目の留学となりました。2008年4月より吉村直樹先生が同 Research 部門教授に就任され、日本人留学生3名、Tai 先生ほか総勢6名ほどで過活動膀胱や間質性膀胱炎など神経因性膀胱関連の研究を行っています。吉村先生は泌尿器科医のバイブルである「Campbell-Walsh の Urology」も執筆されている、世界的に有名な先生です。しかしながら、とても気さくで優しく、研究の「け」の字も知らなかった私にも、丁寧に一から研究の指導をしてくださっています。現在、私は横山先生の研究を引き継ぎ、ヘルペスウイルスの間質性膀胱炎治療への利用に関する研究を行っています。

神経泌尿器科領域の第一人者であり、吉村先生の師匠でもある de Groat 先生の薬理学教室とは交流が続いており、週に一度合同ミーティングが開かれます。普段、日本語とカタコトの英語で事足りるこの留学先で、唯一英語力が試される試練の場でもあります。毎週、一人の研究者が自分の研究内容を一つ発表します。様々な講座の合同ミーティングのため、内容は薬理学から分子生物学、臨床研究など多岐にわたります。それに対し、de Groat 先生たちが幅広い知識を背景に的確なコメント・厳しい質問を1時間以上繰り出してくれます。聞いているだけでとても勉強になりますが、発表者はかなり大変です。発表は持ち回り制なので近い将来、その荒波にもまれます。今年度最大のヤマ場になりそうです。

アメリカに来て半年。生活でも研究でも試行錯誤の連続ですが、良い環境の下、周囲にも助けられて楽しく留学生活を送っています。

最後になりますが、西澤教授をはじめ、泌尿器科学講座の皆さまにはこのような素晴らしい機会を与えていただきましたことを厚く感謝いたします。

(2009年9月)

(信州大学医学部泌尿器科学講座所属)